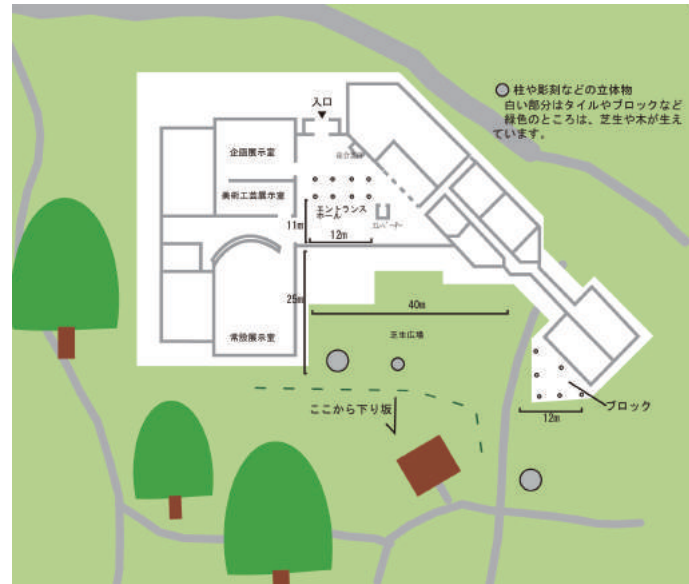


# 学生演劇公演 参加団体募集

2017.  
11.20 MON.

2018.  
1.18 THU.



みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム 会場平面図



みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム  
外観と芝生広場

## これまでの参加団体

2008年(第1回)	劇団 虚仮華紙／劇団 森
2009年(第2回)	劇団 森
2010年(第3回)	劇団 森
2011年(第4回)	劇団 森
2012年(第5回)	劇団 森
2013年(第6回)	劇団 森
2014年(第7回)	早稲田大学演劇倶楽部
2015年(第8回)	劇団 森
2016年(第9回)	劇団 森
2017年(第10回)	劇団 森

表紙：木曾川沿いの風景  
中面：みのかも文化の森 外観と芝生広場

美濃加茂学生演劇公演に関する詳細は、こちらのQRコードよりご覧ください。「公演実績」の一覧から、実施レポートもご覧いただけます。また、同ページにて募集要項および参加企画書を掲載します。それぞれ精読の上、ご応募ください。



### 応募に関するお問い合わせ

早稲田大学文化推進部文化企画課

TEL: 03-5272-4783 FAX: 03-5272-4784

E-mail: minokamo-koen@liset.waseda.jp

web: <https://www.waseda.jp/culture/>

### 公演会場・滞在施設に関する情報

みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム

TEL: 0574-28-1110

E-mail: [museum@forest.minokamo.gifu.jp](mailto:museum@forest.minokamo.gifu.jp)

web: <http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>

世界はすべて劇場である。

## 募 集 要 項

### 応募資格

演劇、その他舞台芸術活動（ミュージカル・ダンス等）を専門とする本学公認団体（学生の会、地方学生の会、同好会、学術院承認団体）で、運営に関わるスタッフ（制作、照明、音響、舞台監督等）を手配できる団体。  
※複数団体のコラボレーションも可能。

### 実施概要

滞在期間： 2018年9月11日（火）～17日（月・祝）

場 所： みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム  
（岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1）

内 容： 敷地内での公演。野外、エントランスホール、生活体験館まゆの家（古民家）など。  
その他文化交流のためのイベント企画・立案、実施。  
（高校生や市民を対象としたワークショップ等）

公 演： 2018年9月15日（土）～16日（日）のうち任意の回数

参加人数： スタッフ含め15名以内

上演に関して：

野外上演は雨天の場合を想定し必ず2日とも実施、または予備日を1日設けること。雨の場合はエントランスホールで実施するので、室内での演出も準備しておくこと。なお、施設の都合上、18時以前のエントランスホールでの上演はできない場合がある。

照明・音響機材について：

持込またはみのかも文化の森からの借用。他団体の利用がない場合には、美濃加茂市文化会館の機材を借用可能。機材の詳細は採用後の下見、各施設のウェブページ等で確認すること。  
滞在中、毎日稽古終了後に指定の場所に撤収する必要がある。

### 大学からのサポート

本公演にかかる経費は、上限35万円まで大学より実費補助（要領収書）。35万円を超える経費、また大学補助金の使途に含まれない費用に関しては学生参加者の自己負担とする。

大学からの補助金の使途に含まれるもの：

- 現地への往復交通費（高速バスおよびローカル線・路線バスが対象）
- 機材等運送費（宅急便）
- 舞台美術費、照明・音響費
- スタッフ人件費（学生個人への謝礼は不可）
- チラシデザイン費
- 滞在中の費用（食費など）

※広告・宣伝費、映像記録費、宿舍利用費は、補助金とは別途、大学および美濃加茂市が負担する。ただし東京での公開ゲネプロ等を行う場合、その広告・宣伝費は学生の負担となる場合がある。

※8月～9月頃、小野記念講堂等を稽古・リハーサル場所として便宜供与（要予約）。

※講堂利用は原則として平日9:00～21:00。ただし大学の一斉休業期間および前後の定期清掃期間を除く。

※本公演にあたりプロの演劇・舞台関係者等による指導を希望する場合は依頼できる。費用に関しては、補助金とは別途大学が負担する。

### 宿舍について

みのかも文化の森内アトリ棟にて宿泊。最大収容人数15名。  
食事は自炊（近隣のスーパーで買い出し可。調理室あり）、トイレ・シャワー共同、寝具・洗濯機あり、電動自転車使用可能。Wi-fi利用可能。

### 応募

受付開始： 2017年11月20日（月）

受付終了： 2018年1月18日（木）

応募方法： 参加企画書を「早稲田文化ホームページ」（<http://www.waseda.jp/culture/partnership/minokamo/>）よりダウンロードし、添付書類と共に持参。

提出書類： ・参加企画書（所定用紙）  
・団体または主宰者の過去の公演のチラシ、パンフレット、写真等の資料（最大5枚まで）  
・過去の作品のDVD（団体の作品および、今回作・演出する方の作品各1枚、合計2枚まで）

※過去の作品がない場合は、参加企画書にその旨を記載。  
※過去の資料には本企画参加作品を含めない。

### 選考

採用決定： 2018年1月末を予定。

採用団体： 1団体のみ（コラボレーション企画は複数団体可能）

選考委員： 本学文化推進部教職員  
みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム職員

選考方法： 書類選考および面接（面接は文化推進部で実施）

選考基準： 意欲、作品内容、スタッフの体制等を総合的に評価

注意事項： 応募時の代表者（主宰）と演出・脚本担当者が異なる場合、面接の際両者に出席していただきます。

### その他

• 市民との文化交流の一環として、滞在中1回以上、美濃加茂市内高校生または市民対象にワークショップを実施していただく予定です（2017年は岐阜県立加茂高等学校で演劇ワークショップを実施）。後日改めてワークショップについての企画書を提出していただきます。

• 現地でメディアからの取材を受けていただく場合があります。（これまでの例：新聞・雑誌の取材、ケーブルテレビ出演、等）

• 本事業の参加者は全員、美濃加茂出発前のミーティングへの出席および公演終了後の大学へのレポートの提出と反省会への出席が義務付けられています。また美濃加茂市への出発前ミーティングおよび帰還後の反省会にて、アンケートへの回答等にご協力いただく場合があります。

• 美濃加茂市あるいは大学の要望により、公演後のアフタートークや公演前後の広報等、本事業に関連するご協力をお願いする場合があります。

## 早稲田大学・美濃加茂市文化交流事業

### 学生演劇公演とは

～2017年～

早稲田大学は2007年4月に岐阜県美濃加茂市と文化交流協定を締結し、2008年より毎年9月に、本学学生による演劇公演を行っています。美濃加茂市出身の坪内逍遙は、シェイクスピア作品の翻訳「新修シェークスピア全集」全40巻を刊行したことで知られていますが、同時に演劇や舞踊の発展のためにも尽力し、論考の執筆のほか、劇脚本の作成や演劇指導のための養成所の設立等、多岐にわたり活躍しました。本企画は、演劇・舞台芸術の発展に多大な貢献をした坪内逍遙の精神に倣い、始めました。

学生の皆さんは岐阜県美濃加茂市のミュージアムで6日間合宿しながら稽古と公演をします。この企画の大きな魅力は、都会ではなかなかできない野外での公演が可能なこと。野外公演専用のスペースはありませんが、広い芝生、森、建物、空、全てが舞台。夜は照明次第で幻想的な空間に変わります。ガラス張りのエントランスホールで野外と往来したり、敷地内の施設を利用した演出も可能です。また、滞在中はワークショップの実施、美濃加茂市民との交流を通して、大学の外で活動する意義を見出してください。

「広い敷地内を舞台として用いるための発想力を鍛えたい」  
「いつもと違う環境で、早稲田の演劇を知らない人たちに見て欲しい」  
「野外という区切りのない舞台で、演技や舞台美術を研究したい」

参加者の目的は様々です。

自然を活かした作品、美濃加茂にインスピレーションを得た作品、逍遙やシェイクスピアにまつわる作品、通常の劇場ではできないダイナミックな舞台構成の作品。あなたの創造力を存分に発揮して、ここでしかない作品にチャレンジしてみませんか。

この企画は、学生の皆さんが主体となって創り上げる文化交流事業です。公演そのものだけでなく、美濃加茂市民を対象としたワークショップ等、地域間での文化交流について学生の目線での新鮮なアイデアもお待ちしています。大学は皆さんのアイデアを形にするお手伝いをします。

学生の皆さんが、本企画を活用して積極的に外に飛び出し、坪内逍遙の精神に触れ、成長していただくことを期待しています。また、現地市民の皆さんとの交流を通して、本学と美濃加茂市の文化交流がより活発になることを願っています。

主催

早稲田大学文化推進部文化企画課  
みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム